

第3回 向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会 会議録

開催日時	平成28年11月11日（金）午前9時30分～11時30分
開催場所	向島学生センターセミナーハウス2階会議室
出席者	高田会長，杉本会長職務代理者，乾委員，加藤委員，小林(勝)委員(代理/増田氏)，福井委員，上代委員，高木委員，日高委員，宇野委員，浜中委員，山崎委員，小林(大)委員，大濱委員(代理/大濱育恵氏)，西川委員，平田委員(代理/佐藤氏)，西澤(弘)委員，宮島委員，伊藤委員，押領司委員(代理/愚川氏)，西澤(亨)委員，菊池委員，善積委員，篠委員，山本委員，中村委員 WG：竹口（京都文教大学）
欠席者	鈴木委員，北田委員，澤田委員，丸木委員
事務局職員	京都市 都市計画局都市企画部都市総務課ニュータウン企画調整担当課長 菱田 栄造 同課企画調整係長 平岡 雅基 伏見区地域力推進室まちづくり推進課長 東山 和之 株式会社地域計画建築研究所 嶋崎 雅嘉 大河内 雅司 戸田 幸典
公開・非公開	公開
傍聴者	1名
報道関係	1名
議題(案件)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 議題 <ul style="list-style-type: none"> 1 これまでの検討状況報告 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討会の内容確認 ・「第2回向島ニュータウンのこれからの話し合う集い」の開催結果報告 ・ワーキンググループ（WG）の開催・検討の状況報告 2 向島ニュータウンまちづくりビジョン案検討資料について 3 向島ニュータウンまちづくりビジョンの策定に向けた，住民の方々への周知等について 4 今後のスケジュール ○ 閉会

資 料	<p>資料1-1 第2回向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会 会議録</p> <p>資料1-2 「第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い」開催結果報告資料</p> <p>資料1-3 各ワーキンググループ(WG)の開催・検討状況報告資料</p> <p>資料2 向島ニュータウンまちづくりビジョン案検討資料</p> <p>資料3 「向島ニュータウンまちづくりビジョンの策定に向けて」(パンフレット)</p> <p>資料4 今後のスケジュール(予定)</p> <p>参考資料1 向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会 委員名簿</p> <p>参考資料2 向島ニュータウンまちづくり通信第3号</p> <p>追加資料 今後のワーキンググループ開催日程</p>
-----	--

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
高田会長	<p>■ 開会</p> <p>○ただ今から第3回向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会を開催する。</p> <p>○本日は向島南自治会連合会会長の鈴木委員，向島中学校校長の澤田委員の2人が所用のため欠席となっている。</p> <p>○向島二ノ丸学区市政協力委員連絡協議会会長の小林委員の代理として増田みち子様，医療法人健幸会むかいじま病院院長の大濱委員の代理として大濱育恵様，京都市南部障がい者地域生活支援センターあいりんセンター長の平田委員の代理として佐藤雅裕様，京都文教大学フィールドリサーチオフィス課長の押領司委員の代理として愚川聡晃様にそれぞれ御出席いただく旨の連絡を頂いている。</p>
高田会長	○事務局から本日の議題の確認と資料の確認をしていただく。
事務局	<p>(議題1～4の確認)</p> <p>(資料の確認)</p>
高田会長	○本日は議題2「向島ニュータウンのまちづくりビジョンの検討」が中心的な議題となるので，そこに時間を割きたい。御協力をお願いしたい。

高田会長	<p>1 これまでの検討状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討会の内容確認 ・「第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い」の開催結果報告 ・ワーキンググループ（WG）の開催・検討の状況報告 <p>○議題1「これまでの検討状況報告」について、事務局から説明していただく。</p>
事務局	<p>（資料1-1, 1-2, 1-3について説明） -</p>
高田会長	<p>○この範囲について質問はないか。（質問、意見等、なし）</p> <p>○お気づきの点は後ほど発言していただいても結構なので、次に移りたい。</p>
高田会長	<p>2 向島ニュータウンまちづくりビジョン案検討資料について</p> <p>○本日のメインの課題である「向島ニュータウンまちづくりビジョン案」の検討に入りたい。まず事務局から資料2を中心に説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>（資料2 概要，本冊の方針 I まで説明）</p>
高田会長	<p>○いくつかに分けて検討するが、皆様からの意見によって進め方を臨機応変に変えていきたい。</p> <p>○まず、今説明されたビジョンの組立て等について、質問や意見等があれば発言していただきたい。</p>
乾委員	<p>○概要版のP1は大卒の話で、次のページから各項目の話になるので、分けておかないと進めにくいと思う。</p> <p>◆ 【現状・課題概況】についての補足</p> <p>○本冊のP1，【現状・課題概況】の中には、商店の課題や買い物要支援者の課題が挙げられているべきだと思う。</p> <p>◆ 【まちづくりの基本的な方針】における自立性について</p> <p>○まちづくりの基本的な方針については、たくさんの文言が並んでいて誰も反対はしないが、これでどうするのか。枕詞なので構わないと思うが、恐らくこれまでの流れから、地域で地域を運営していくような自立性を支え、目指していく、住民の力、自分の組織の力を活かすという話はあると思う。</p> <p>○ただ、それだけ書くと住民が頑張るだけの話になるので、住民の自立+行政とのパートナーシップの話をきちんと大方針の中に活かすべきではないか。</p> <p>○推進体制については、地域で地域を運営する組織を作っていく。行政がきちんと支援していくということなので、その形を入れた方が良い。</p>

	<p>◆ 住民の任務と行政の任務の明確化について</p> <p>○もう1点、全体を貫く大枠の話として、住民の任務、行政の任務をきちんとコメントしていくべきではないか。住民の頑張りが大事なところ、行政がバックアップするところを書いて、例えば、空き家の活用であれば、それを行政がどういう形でサポートしていくかという話をきちんと意識しておく。細かくは書かなくても、行政側の役割も明示しておくことがこの冊子の有効性を増すと私自身は期待している。</p>
高田会長	○関連する意見があれば、発言していただきたい。
加藤委員	○6つの方針を先に説明していただいて、皆さんの意見を頂く方が進行しやすいように思うが、いかがか。
高田会長	○私も資料2の概要版をベースに議論するつもりだったので、概要版を見ながら議論した方が進めやすいと思う。全体のフレームやテーマの問題等、ビジョンの組み立てに関する議論と内容に関する議論があると思ったので、組み立ての話を中心に伺おうと思ったが、内容についても重点や喫緊の課題等、いろいろな議論が出てくるように思う。したがって、概要版のP2～P8までを先に説明していただき、その上で意見の出方を見ながら検討すべきところを絞っていききたいと思う。
事務局	○乾委員が指摘された取組主体については、それぞれの取組項目において、いろいろな主体にまたがって行われることになると思うが、メインとなる主体については明示していく必要があると思っている。今回は調整中の部分があり、記載していないが、ビジョン成案には記載したいと考えている。
事務局	(資料2 方針Ⅱ～推進体制について説明)
高田会長	○資料2の概要版と本冊の概要の説明を受けて、もう一度全体の検討に戻りたい。まずビジョンのフレームについて、乾委員から全体の構成についての意見を頂いたが、全体の組み立て等についての質問、意見はないか。
小林(大)委員	<p>◆ 公営住宅の空き家について</p> <p>○P2以降に「空き家活用」がたくさん出ている中で、【資源・強み】の中に「公営住宅の空き家」と書かれているが、住宅の部会で市の担当の方が試算</p>

山崎委員

されたところ、現状は8件に1件が市営住宅の空き家で、このまま何も対策を講じなければ、10年後には4件に1件が空き家になるという数字が出ている。これを「強み」と書くか、「このままでは大変なことになる」と書くかという、ここは課題として、近々に手を打たなければ大変なことになるという趣旨で「空き家が増加している」という一文を入れるべきだと思う。

◆ **向島ニュータウン見学ツアーの提案**

○ビジョンの検討も終盤に入ったので、まとめの前に向島ニュータウンの見学ツアーを実施していただきたい。駅前から近鉄の循環バスに乗って1周し、もう一度、駅前から中央公園、図書館、小中一貫校が出来た後で廃校になる向島二ノ丸小学校、向島中学校、それから商店街、順序は別としてそれらを回ってここに戻っていただく。内容にもよるが、約2時間のツアーになると思う。その時に、向島図書館の2階や学生センターの上階もぜひ見ていただきたい。まとめの前にその時間をつくっていただけたらと思う。

◆ **介護保険制度の改正にともなう住民組織の強化等の必要性について**

○向島ニュータウンの再生には用途変更も含む将来ビジョンの検討が必要だが、住民には日々のいろいろな要望もある。WGの議論で具体性に欠けると思うのが、高齢者への対策である。2014年6月にいわゆる医療・介護改正法が施行され、来年4月からデイサービスやホームヘルプのサービスという介護支援事業が市町村に移行される。しかし、いまだ市からは具体的な受け入れ体制が明確にされていない。

○この改正の目的は社会保障制度とその財政の立て直しと思うので、多少の負担増やサービス低下は仕方ないと思うが、介護保険の対象外になり、市がその手当をしなければ今受給している高齢者は路頭に迷うことになる、住民のボランティア等の支援が必要と思うが、先ほどの案にはその具体的な対策が入っていない。住民側でそのような体制を作っていくためには住民組織の強化とコミュニティセンター等の集いの場所の用意が喫緊の課題になる。具体的な改善、対策をぜひビジョンに入れていただきたい。

◆ **中央公園についての課題について**

○また、私は中央公園の清掃活動を十年余りしているが、公園内に避難用設備の設置や若い人が集まる公園にするという意見に対して、中央公園はマンホールもないし、火を炊ける場所も少ない。現在、向島二の丸小学校グラウンド、向島中学校グラウンド、向島中央公園が広域避難場所になっている。避難所としても小中学校グラウンドがあり、それぞれの団地の中に公園があり、中央公園に出てくるのは距離的に不便でもあり、この意見は再検討を要すると思

高田会長	<p>う。</p> <p>○若者が利用できる公園にするという点については、会長あて提出した「向島ニュータウンの公園全体の現状報告」に書いたように中央公園の隣には運動公園、子供の遊具が整備された児童遊園やテニスコート、4街区・6街区には児童公園等、いろいろ機能を持った公園とニュータウンの中心に中央広場があるので、まずそれを十分使い分けてはどうか。中央公園は自然公園という目的で作られた向島ニュータウンの大切な資源なので、その目的を生かしていただけたらと思う。</p> <p>○小林委員からは、空き家の課題として問題提起があった。これは個別の課題でもあるが、空き家が柱の中でどう位置付けられているかということに関わる全体の課題として発言があったと思う。</p> <p>○山崎委員からは現地視察と、現地でのミーティングも含んでいるかもしれないが、意見交換をしてはどうかという意見があった。これは運営に関する議論なので事務局の方で検討していただければと思う。</p> <p>○高齢者ケアの仕組は、社会的な変化の中でこのビジョンの中に組み込まなければならない喫緊の課題として指摘された。空き家問題も喫緊の課題として小林委員から指摘があったが、要するに重点や喫緊の課題に加えなければならないものがあるということである。</p> <p>○中央公園の話は、全体としてはオープンスペースの再整備計画、あるいはネットワークについてももう少し深い考えが要するという指摘があったが、これも中央公園の記述に対する意見を超えて、そういう部分のフレームの中で考えるべきこととして指摘された。関連する意見があればお願いしたい。</p>
加藤委員	<p>○山崎委員の意見については、厚労省が10月に25年に向けての流れとして「我が事・丸ごと」地域共生社会を打ち出した。</p> <p>◆ 全体構成について</p> <p>○まず、全体構成について、何が根、幹、枝、葉なのかというと、根は住民主体、命の尊厳、多様共生の3つ、幹はスローガンで、6つの枝があると思う。</p> <p>◆ 主体形成について</p> <p>○2点目は主体形成で、住民の主体形成のためには促進役、調整役が重要になる。そこで、例えば、福祉作業所に格安で空き物件を貸して、そこにコミュニティソーシャルワーク的なものを義務づける、あるいは学生等に格安で貸してアウトリーチ的に一定のコミュニティに関わることを義務づける等、そういうことが住民の主体形成を継続的に進めていくことにつながると思う。</p>

高田会長	<p>◆ アウトリーチについて</p> <p>○3点目はアウトリーチで、高齢者・障害者・マイノリティは、狭間・谷間の問題がある。引きこもっている方が多いので、訪問して信頼関係をつくり、ニーズを把握してサービスにつなげることが重要なので明記してほしい。</p> <p>◆ 中国帰国者とのブリッジングについて</p> <p>○最後に、中国帰国者のところで決定的に抜け落ちているのが中国帰国者とそれ以外の住民とのブリッジング（2つのネットワークの接続）である。交流して、多様なものが共に活かされることが重要だと思う。</p> <p>○全体のフレームに関わることと、住民の主体形成のサポートの仕組みを空き家問題と合体して提案をいただいた。また訪問してサービスを提供するような仕組みづくりはいろいろなところに関わる話になると思う。中国帰国者については、交流の問題をしっかりと取り上げるべきだという指摘があった。個別の問題と全体のフレームの話が重なって意見を頂いているので、個別の問題でもお気づきの点を発言していただきたい。</p>
福井委員	<p>◆ これまでの取組について</p> <p>○11月7日に伏見区の市政協力委員連絡協議会の会議があり、各学区から市に対して出された要望の回答があった。その中で、この会議が提案している向島ニュータウンの再生について一層の協力が求められ、協力の一層の進展が約束された。その後、市長懇談会があったが、冒頭で市長自ら向島ニュータウンの再生に向けての意気込みを語られたので、向島が全市から注目されて進んでいることを実感した。</p> <p>○これまで、4月に検討会が発足し、タウンミーティングが2回開催され、ワーキンググループも数ヶ月にわたる取組を行っており、そういう面では充実した会議が続いていると実感している。</p> <p>○私はニュータウンの再生に対して住民から意見が出ないことを危惧しており、ワーキンググループへの住民参加も、参加者が固定され、さらに拡げていく必要があると思う。一方、最近、自分の学区でビジョンの大枠に対する住民の意見を聞く機会があったが、やはりビジョンという大きな括りになると、個人の意見は言いにくいのかもかもしれない。このビジョン検討状況資料の内容としては、現状を肯定する意見から「転出するので関わりたくない」という意見まで様々だが、今回出されている討議内容はほぼ住民の意見を反映していると捉えている。引き続き住民が関心を持てるように我々も頑張りたいと思うので、この会がより素晴らしくなっていくことを願っている。</p>

日高委員	<p>◆ 推進する主体について</p> <p>○全ての課題が挙げられた中で「誰が」主体になって取り組むかということについては、P8の【推進体制】に集約された形になっている。いろいろな課題が出ているが、実際にテーマが決まった後で、それを出された場合、住民主体で受け皿があるのかどうかが気になる。そろそろ主体について、組織も含めて「誰が」という部分を踏み込んで書いていかないと“絵に描いた餅”になる可能性がある。そこまで踏み込んで討議をしていく時期ではないかという気がしている。</p>
上代委員	<p>◆ 観月橋の欄干の整備について</p> <p>○観月橋(豊後橋)の見映えが良くないのが気になる。向島全体の活性化が進むように話題性のあるものがあると良いので、観月橋の橋はそのまま欄干だけでも擬宝珠付きに取り換えるとイメージが一変すると思う。話題性も向島地域に向けて、一気にイメージが上がるのではないか。これからもその要望は出していきたい。</p>
菊池委員	<p>◆ 4年間の年限と重点・喫緊・将来構想との関係について</p> <p>○先ほどの「誰が」に関連して、「いつまでに」という部分で【まちづくりの方向性】に「今後4年間で具体的に検討」とあるが、それと各論の「重点」「喫緊」「将来構想」との関係が分からないので、説明していただきたい。</p>
事務局	<p>○今回のまちづくりビジョンは4年間が取組対象期間なので、方針6の中長期的な土地利用計画の見直しは別に考えるとして、方針1～5の項目は4年間で取り組むべき項目として考えている。</p> <p>○「実施(調整)段階」としているものは、ほぼ固まってきている。予算調整、経費負担云々の話でまだ調整する部分があり、確定ではもちろんないが、これに関しては4年間で取り組みたいと考えている。「継続検討」はある程度フレームが固まりつつあるが、さらに調整して4年間で着手できたら良いという項目。「将来構想」は、ワーキンググループの中で「こういうことができれば良い」というアイデアレベルのものも含まれているので、4年間で、アイデアレベルを取組段階にまでに持っていけるかどうかも含めて検討したいという意味である。</p>
高田会長	<p>○他はいかがか。</p>

乾委員

◆ プロジェクトの分類について

- P2のⅠの1-1-1-3は「歴史資源を活かした情報発信とイメージ付け」の項目の中で「小中一貫校」について書いているが、小中一貫校の話はⅡの方に入るべきだと思う。Ⅱにはあまり書かれていないのが気になる。
- Ⅰの3「多文化交流のまち」の「市営住宅における外国籍住民の自治会加入等支援」というプロジェクトについては、そういう人たちの力を借りる、外国籍住民の誇りの回復や生きがいをつくるという話であればここで良いが、自治会加入等であればⅢの8-14に入るのではないかな。気になるどころがいくつもあるので、その辺りはもう一度検討しなければならないと思う。

◆ 検討委員会の検討の進め方について

- 要は、この検討会でこれが出された時にどう扱っていくかという時の議論の進め方について、ここに書かれている話は皆の意見を聞いて、それを整理すると課題や対策はこうなったという流れで書かれている。これでまとまるとよくあるパターンで、多くのすべきことが書かれて、行政がしたことは必ず判定しなければならないので、行いやすいことは実施した印がついて、難しい話は抜けたけれども達成率が7～8割という話で進んでいく。
- 実は一番大事な話は、「皆が言っている課題や対策はこれだ」という話を整理した上で、それを基にしたブレイクスルー（障壁となっていた事象の突破）である。つまり「今、しなければならないものはこれとこれ」という提案を出して、それが是か否か、足すべきことはないかという話を議論しなければ次のアクションが見えてこない。そういう議論の出し方として、広がりを見えちんと見た上で「ここをやろう」という話を出してほしいと思う。

◆ 自治機能の強化

- その時に、向島についてはブレイクスルーの会議がいくつかあると思う。1点目が自治機能の強化で、向島の地域をきちんとまとめる自治組織を住民主体のためにつくろうという話がある。ただ、それだけで終わると動きがとれないので、行政と四つに組める組織にする。つまり、協議会型できちんと行政が認めて、行政が手を組むと宣言すると、その組織から出てくる話には行政は耳を傾けなければならない。そういう組織の在り方が出てきているし、京都市もそろそろそれをやろうとしているので、向島をモデルケースにするつもりで組織化をする。
- 行政と四つに組んでもものが言える組織で一番有名なのが神戸の真野地区まちづくり推進会で、そのコンサルタントである宮西悠司氏曰く、行政と喧嘩できる組織、行政とパートナーシップで水平の関係に立つ組織にするということだが、組織をつくった時に行政がそれをどう見なし、どういう扱い方

をするかという話は行政にしか言えない。そこまで踏み込まないとP22の組織化の話が有効性を持たない気がするので、ブレイクスルーするためにはそこまで踏み込んでほしい。これまでのやり方で済まないところをブレイクスルーする1つのポイントはそこにあると思う。

◆ 空き家の活用

○2点目は空き家で、空き家を強みにするには新しい方法に積極的に取り組む必要がある。つまり、京都市の公営住宅の空き家の活用基準+αを仕組としてつくっていくという話をここで出しておかなければ、どれだけ掛け声をかけてもマイナスにしか働かないので、そこまで踏み込む。それは市役所などで議論が必要だと思う。そこまで踏み込めたら、福祉の方へ展開したり、学生を住ませたり、さらに、中国帰国者の最大の問題は言葉が通じないことであり、介在する人がいろいろなところにいる限り問題を解決できないとすると、その介在者をボランティア（自発的）な形で頼るのか、あるいは、介在することを条件に中国人留学生を安く空き家に住ませる等、そこまで工夫する。そのように、いろいろな問題に空き家をどう活かせるかという話が重要になる。

◆ 道の駅等の整備と活用

○3つ目が商店の形で、買い物要支援者等の問題が出ているが、道の駅等、いろいろなアイデアが出ていることは良いと思う。道の駅に日用品も買える場所をつくる、あるいは向島がそこに店を出す、場合によっては中国の人たちが中華街をつくって、そこで雇用を創出し、通訳の人が採用されて、その通訳の人が前述の介在者にもなり、ビジョンにもつながっていく。

○道の駅等の整備も今のニュータウンの中では簡単な話ではなく、行政の前向きな姿勢がなければ動かないが、今出ているアイデアの中では、ここがブレイクスルーの大事なポイントのような気がする。「ここここは行う」「ここは住民もその気になって動いて欲しい」「行政もそこは突破する」という話まで含めれば、希望が持てるビジョンになると思うので、「検討会はここがポイントと考える」という明解な方向性を示して、それを押し付けるのではなく、もう一度皆の議論に供するという流れが是非ほしいと思う。

◆ 「重点」「喫緊」の検討について

○乾委員の指摘は重要なポイントだと思う。頻繁に住民から出てくるが、例えば、II-6の空き家整備のための改善も、実は改善するように仕様を変えなければ空き家が減らないのであるが、「重点」も「喫緊」も●がついていない。したがって、子育て向けリノベーションについては「重点」、整備時の改善

杉本委員

<p>高田会長</p>	<p>は「緊急」に●をつけるようにすることが必要である。Ⅲ-7も同様で、行政が関わるところで●がついていないところが結構あるので、そこをこの検討会でしっかりと議論して、●をつけていくことが必要だと思う。</p> <p>○全体とのまとめ方については、3つの幹と6つの枝という提案があったが、ツリーの構造で整理することに対しては大きな反対意見はなかった。ただ、整理する時にどの項目に何を入れるかは、相互に関係する項目が多いために、本来ツリー構造で整理できない。したがって、マトリックス（行と列で表す「表」）を整理してツリーに整理しやすい状態にしておかなければならない。行政の施策の体系になると使い勝手が良くないので、結局はツリー構造のフレームを作らざるを得ないと思うが、もう一度マトリックスに戻って検討した上で、様々な議論があるところについては再配置を考えることが必要ではないか。</p> <p>○その際に、空き家問題や高齢者ケアの問題等、皆様から意見をいただいたところについては、重点的に議論しなければならないので、より深く考えた上で体系を修正していただきたい。</p> <p>○山崎委員のコメントはハード整備に関わる話が多かったが、議論としてはソフトに関する話が多くて、ニュータウン全体のハードな再生計画については意見が出にくい部分もあると思う。具体的には、オープンスペースの再検討という話が出たが、様々なインフラが整っているのもニュータウンの大きな特徴なので、周辺との関係や自然環境との関係、あるいは建物自体の再生活用も含めて、ハードの問題についてももう少し議論した方が良いと思う。</p> <p>○特に多くの意見を頂いたのは、主体の問題についてももう少しきちんと考えるということで、向島ニュータウンについては、具体的な担い手が誰なのか、それをサポートする仕組みがどうなのかを、どのようにビジョンの中に取り込むか、もう一度考えなければならない。単に表を作って担い手の欄に「住民」「行政」と書くだけでは不十分である。「重点」と「喫緊」と判断されたものについては特にそういうものが必要だと思うので、主体の検討を引き続き行っていく必要があると思う。</p> <p>○「重点」と「喫緊」の●の付け方は気になる。まず「喫緊」は子ども関係や中国帰国者の関係、福祉防災に●が付いており、それ自体はその通りだと思うが、防災は緊急だから全部に●がつくというわけでもなく、逆に今すぐ行わなければならないこととよく議論してから行わなければならないことがある。防災の話も私は「重点」的な問題で大変大事な話だと思うので、本質的な議論をしなければならないが、取り敢えずしなければならないことに●</p>
-------------	--

	<p>が付いているという発想で、むしろ絞り込んだ方が良いのではないかと思う。「重点」はもっと深く詰めなければならないところに付けるべきだと思うが、全部の項目に付いている等、付け方がページによってバラつきがあるので、同じ価値観で付いているかどうかにも気になる。ここについては再検討いただけたらと思う。</p> <p>○全体を通じて、このビジョンについて今発言したいことがあれば、お願いしたいが、いかがか。</p>
小林(大)委員	<p>◆ 分譲住宅について</p> <p>○市営住宅の比率が高いので市営住宅に関する問題点が多く出てくるが、実は分譲もあり、11月から立ち上がる7つ目のワーキングで跡地利用とコミュニティをどう作るかという組織の話をする段階では検討しなければならない。実際にニュータウンの中の分譲ゾーンで低層の建物の建て替えが始まっているが、どのようにしていくかは全く決まっていないので、このまま放っておくと北側の低層ゾーンはニュータウンではなくなる可能性がある。その辺りも含めて用途の見直しをかけるとすれば一度検討する必要があると思う。</p> <p>◆ 3 街区の建替え問題について</p> <p>○もう1つ大きな話として、3街区は1棟当たり約130軒×7棟が区分所有で一体になっており、1棟ずつの建替えができない状況で築40年になるので、いずれ建替えの話が出てくる。ニュータウン全体の土地利用を考える段階できちんと整理する必要があるので、中長期的な話でも、議論の土俵に上げるべきだと思う。</p>
高田会長	<p>○ニュータウン全体の土地利用もあるので、ハードな再整備の問題も大きな課題である。全国的にも同様の課題が出ていると思うので、その辺りもどう組み込むかを考えていただきたい。</p>
高田会長	<p>3 向島ニュータウンまちづくりビジョンの策定に向けた、住民の方々への周知等について</p> <p>○議題3の「向島ニュータウンまちづくりビジョンの策定に向けた、住民の方々への周知等について」の資料説明を事務局にお願いしたい。</p>
事務局	<p>(資料3について説明)</p>
高田会長	<p>◆ ツールの種類について</p> <p>○紙媒体を作成して配るという提案だが、それ以外の媒体はあるのか。</p>

事務局	<p>○京都市のホームページには掲載予定であり，紙媒体の全戸配布に加えて，住宅供給公社向島営業所等でも配布を考えている。</p>
高田会長	<p>◆ 紙媒体に関する言葉の問題について</p> <p>○より多くの方々に検討内容を伝えて意見を頂くこと自体は結構だと思うが，この方法で全戸配布した場合，言葉の問題はないか。</p>
杉本委員	<p>○中国帰国者のための中国語版も作りたいと思っているので，全戸配布で協力をお願いしたい。</p>
乾委員	<p>◆ 2段階の周知の提案</p> <p>○知らせるのは良いが，どのような内容を知らせるのか。本日の議論はどこで反映されるのかが気になる。</p> <p>○検討資料概要で出したものを一通り見てもきちんと目を通していないので，ワーキンググループで検討するべきではないか。最終ワーキングの開催告知もして，その中で見えてきた話から大体の方向を示すという形で，ツーステップが必要ではないかと思う。</p>
杉本委員	<p>○具体的な主体の問題も含めて，推進体制の検討が大事なので，それも含め，11月末～12月初めに実施予定のエリアマネジメントのワーキンググループで，重点や喫緊を表す●印をどこにつけるかという検討も併せて，全体をもう一度見直して，それを反映していただければと思う。</p>
高田会長	<p>○それでは，内容については紙媒体を配布し，今のような意見を取り入れられるところは取り入れて，周知する内容についてはできる限り伝わりやすいように工夫していただきたい。それでよろしいか。（異議なし）</p>
高田会長	<p>4 今後のスケジュール</p>
高田会長	<p>○議題4「今後のスケジュール」について，資料4の説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(資料4について説明)</p>
高田会長	<p>○スケジュールについて質問や意見はないか。本日頂いた意見をビジョンに反映したいと思うので微調整があると思うが，事務局の方で具体的なスケジュー</p>

	<p>ーリングをしていただければと思う。これからこのビジョンの設定に向けて進んでいく大きな手順としてはこのようになると思うので、基本的にこれを認識して、期限内でできるだけのことをする事を考えていただきたい。</p>
高田会長	<p>■ 閉会</p> <p>○全体を通じて意見はあるか。</p>
杉本委員	<p>○本日配られた資料では細かいところまで見ていただけなかったと思うが、エリアマネジメントの会議を開催して、来年度以降、どのような形で行政と一緒に会議を持っていけるか等々を議論したいと思っている。本検討会委員の皆様多くにマネジメントの会議にも来ていただきたいので、それまでに見ていただいて、会議で具体的な話をしたいと思う。ビジョンを作るだけでは“絵に描いた餅”でどの地域も同じようなものを出していると思うので、向島は本格的にきちんと動いて向島モデルをつくるつもりで進めたいと思う。</p>
高田会長	<p>○本日予定していた議題は以上で終了したので、頂いた御意見を整理した上で今後のビジョン作成に反映させていただくようお願いしたいと思う。</p>
事務局	<p>○本日は貴重な御意見を多数頂戴し、感謝申し上げたい。今後のビジョンの内容に反映させていただき、より良いビジョンとして取りまとめていきたいと考えているので、今後ともよろしくお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>